

富山県内の中小企業動向調査
ファーストTrend

2026年1月号

CONTENTS

1. 中小企業動向調査 [2025年10~12月実績/2026年1~3月見込/2026年4~6月予測]
-

中小企業動向調査（2025年12月末日基準）

この調査は、富山県内企業404社からのアンケート結果をまとめたものです。
 企業の調査資料として、2025年10月～12月の実績、2026年1月～3月の見込、2026年4月～6月の先行き見通しを
 集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
404（644）
うち、製造業82社、非製造業322社

調査時期：2026年1月

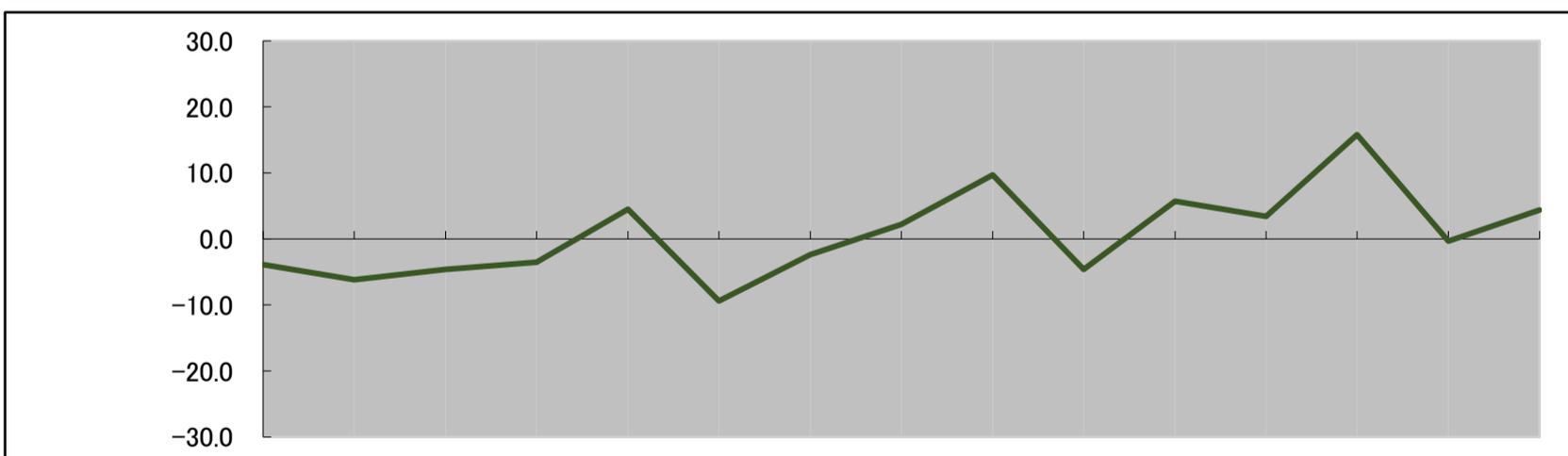
方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が2026年2月に公表した「富山県金融経済クォーター2026年冬」によると、「最終需要において個人消費は、物価上昇の影響などがみられるものの、持ち直している。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増勢が鈍化している。生産は、下げ止まっている。業種別にみると、医薬品を中心とする化学は、緩やかに増加している。電気機械、汎用・生産用・業務用機械は、下げ止まっている。金属製品は、弱めの動きとなっている。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、上昇している。企業倒産は、件数・負債総額ともに前年を上回った。」とあります。富山県内の中小企業の景気は、一部に弱めの動きもみられますが、緩やかに回復しているとみられています。

I. 企業業況

(小数点第2位を四捨五入)

企業業況の推移……（全産業）		（％）												見込	予測		
		2022				2023				2024				2025			
種別	期別	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	
		12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	
良	い	22.6	20.7	20.5	20.4	24.2	18.6	20.4	23.7	27.9	20.6	22.9	21.9	28.2	17.8	18.3	
普	通	50.9	52.4	54.3	55.7	56.1	53.4	56.8	54.8	53.9	54.2	59.9	59.6	59.4	64.1	67.8	
悪	い	26.5	26.9	25.1	23.9	19.7	28.0	22.8	21.5	18.2	25.2	17.2	18.5	12.4	18.1	13.9	
D . I .		-3.9	-6.2	-4.6	-3.5	4.5	-9.4	-2.4	2.2	9.7	-4.6	5.7	3.4	15.8	-0.3	4.4	



富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、プラス15.8となり、前回比12.4ポイント改善しました。

I. 企業業況（続き）

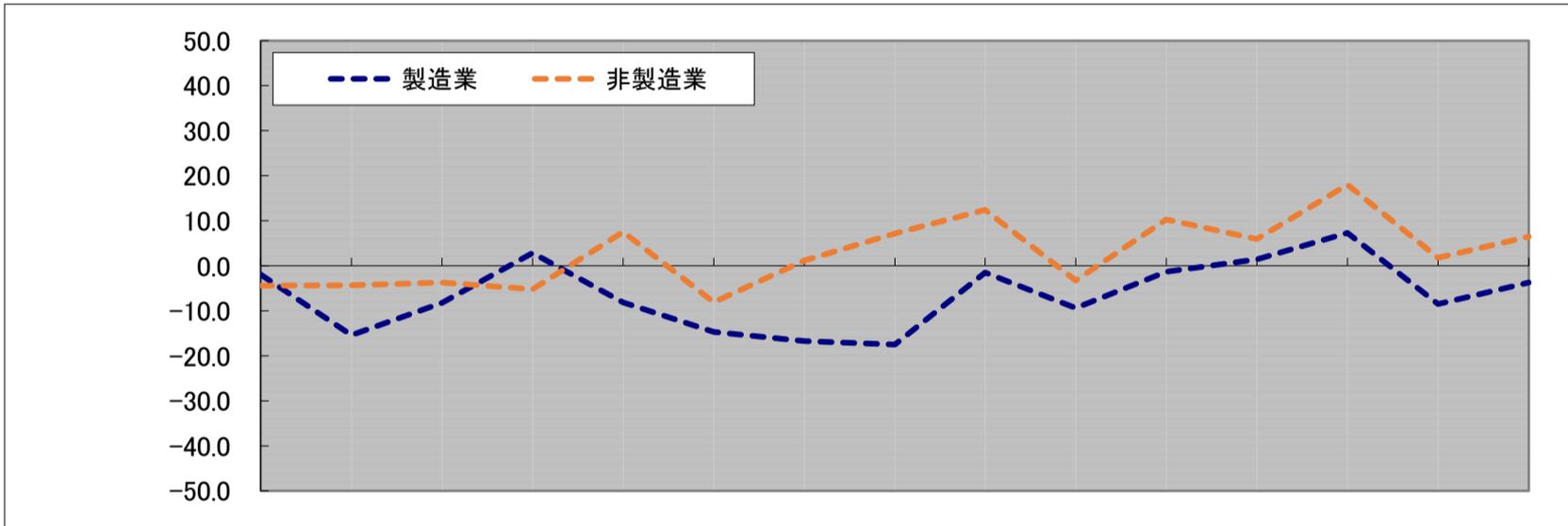
企業業況の推移……（うち製造業のみ）

（小数点第2位を四捨五入）

		（%）														見込	予測
		2022	2023				2024				2025				2026		
		10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	
良	い	26.4	25.0	21.9	30.6	25.8	20.6	22.7	21.7	28.8	25.0	20.7	23.4	31.7	15.9	18.3	
普	通	45.3	34.6	47.9	41.7	40.3	44.1	37.9	39.1	40.9	40.6	47.1	46.7	43.9	59.7	59.7	
悪	い	28.3	40.4	30.1	27.8	33.9	35.3	39.4	39.2	30.3	34.4	22.0	22.0	24.4	24.4	22.0	
D . I .		-1.9	-15.4	-8.2	2.8	-8.1	-14.7	-16.7	-17.5	-1.5	-9.4	-1.3	1.4	7.3	-8.5	-3.7	

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）														見込	予測
		2022	2023				2024				2025				2026		
		10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	
良	い	21.8	19.8	20.2	17.7	23.9	18.1	19.8	24.2	27.6	19.6	23.5	21.6	27.3	18.3	18.3	
普	通	52.0	56.0	55.9	59.4	59.7	55.7	61.6	58.8	57.2	57.5	63.3	62.7	63.4	65.2	69.9	
悪	い	26.2	24.1	23.9	22.9	16.4	26.2	18.6	17.0	15.2	22.9	13.2	15.7	9.3	16.5	11.8	
D . I .		-4.4	-4.3	-3.7	-5.2	7.5	-8.1	1.2	7.2	12.4	-3.3	10.3	5.9	18.0	1.8	6.5	



製造業と非製造業に分けてみると、製造業の業況判断指数D.I.は、プラス7.3となり、前回比5.9ポイントの改善となりました。米国関税政策を巡る不確実性が低下し、企業収益が高水準を保持しており、AI関連需要の強さはあるものの、日中関係の先行きが心配な状況と想定されます。製造業では2026年1月以降の業況D.I.は悪化傾向となる予想です。非製造業ではプラス18.0となり、前回比12.1ポイント改善しました。非製造業では2026年1月以降の業況D.I.は悪化傾向となる予想です。アンケート結果を基に当行にて分析した結果、業種別では、卸売業、飲食サービス業などの改善が大きく寄与しました。

II. 売上高状況

(小数点第2位を四捨五入)

売上高状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2022	2023				2024								2026	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
増加	27.7	26.5	27.6	27.1	31.5	24.4	28.9	28.1	32.1	24.5	27.1	29.7	31.9	20.3	22.3
横ばい	50.0	49.2	49.5	48.1	51.5	51.2	48.6	50.0	52.1	50.3	58.6	55.1	52.3	61.4	63.6
減少	22.3	24.3	23.0	24.8	17.0	24.4	22.5	21.9	15.8	25.2	14.3	15.2	15.8	18.3	14.1
D . I .	5.4	2.2	4.6	2.3	14.5	0.0	6.4	6.2	16.3	-0.7	12.8	14.5	16.1	2.0	8.2

売上高状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

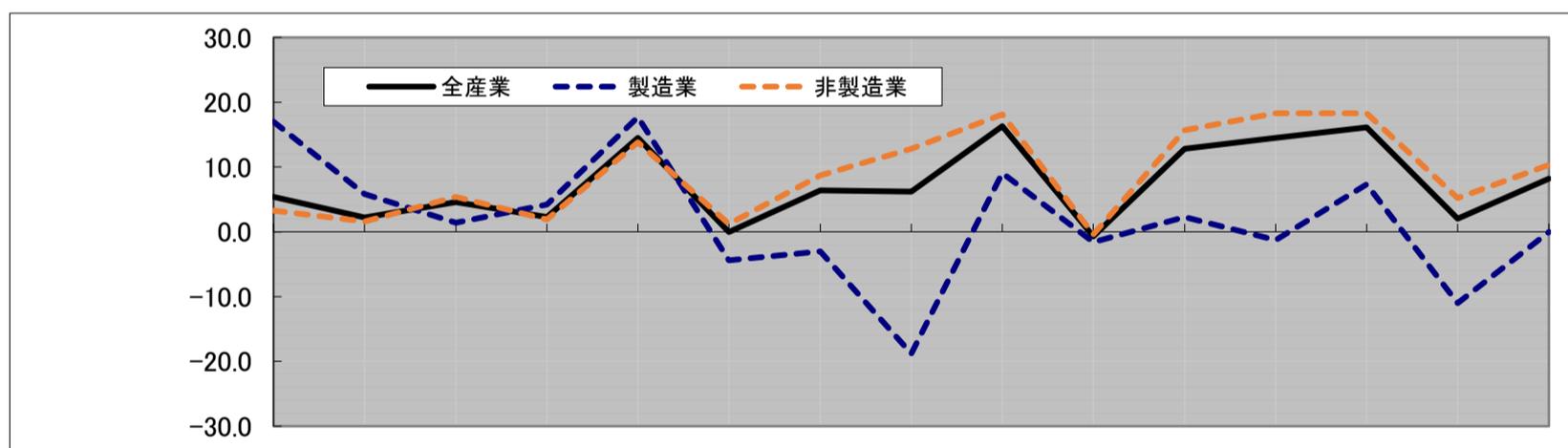
	2022	2023				2024				2025				2026	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
増加	37.7	34.6	28.8	33.3	40.3	22.1	31.8	20.3	28.8	23.4	26.4	26.0	32.9	14.6	22.0
横ばい	41.5	36.5	43.8	37.5	37.1	51.4	33.4	40.6	51.5	51.6	49.5	46.7	41.5	59.8	56.0
減少	20.8	28.8	27.4	29.2	22.6	26.5	34.8	39.1	19.7	25.0	24.1	27.3	25.6	25.6	22.0
D . I .	17.0	5.8	1.4	4.2	17.7	-4.4	-3.0	-18.8	9.1	-1.6	2.3	-1.3	7.3	-11.0	0.0

売上高状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2022	2023				2024				2025				2026	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
増加	25.8	24.9	27.3	25.5	29.5	25.0	28.1	30.2	32.9	24.8	27.3	30.6	31.7	21.7	22.4
横ばい	51.6	51.8	50.8	50.9	54.9	51.2	52.5	52.4	52.3	50.0	61.1	57.1	54.9	61.8	65.5
減少	22.5	23.3	21.9	23.6	15.7	23.8	19.4	17.4	14.8	25.2	11.6	12.3	13.4	16.5	12.1
D . I .	3.3	1.6	5.4	1.9	13.8	1.2	8.7	12.8	18.1	-0.4	15.7	18.3	18.3	5.2	10.3



売上高D.I.は全産業ではプラス16.1となり、前回比1.6ポイント改善しました。2026年1月以降は悪化傾向となる予想です。

製造業と非製造業に分けてみると、製造業ではプラス7.3となり、前回比8.6ポイント改善しました。2026年1月以降は悪化する予想となっています。

非製造業は前回と同数値となりました。2026年1月以降は悪化傾向となる予想です。

Ⅲ. 製品在庫水準

(小数点第2位を四捨五入)

製品在庫水準の推移…… (全産業) (%)

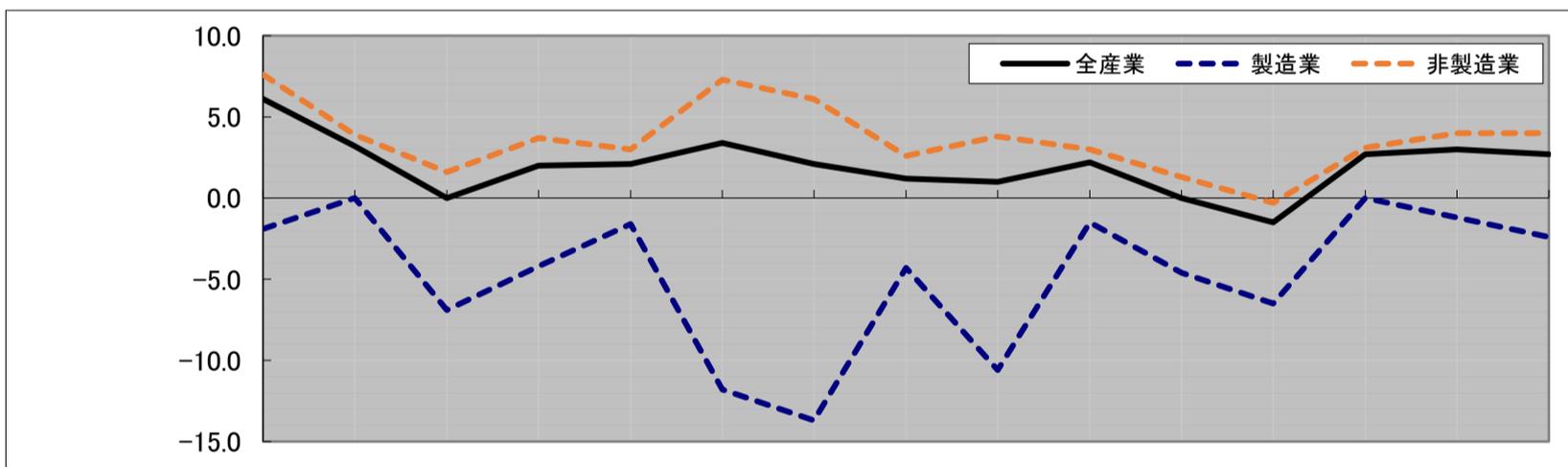
	2022	2023				2024				2025				見込	予測
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
不足	11.0	9.7	7.8	9.0	8.2	9.8	6.7	7.8	5.8	7.6	5.9	4.2	5.9	6.2	5.4
適正	84.1	83.8	84.3	84.0	85.8	83.8	88.7	85.6	89.4	87.0	88.2	90.1	90.9	90.6	91.9
過剰	4.9	6.5	7.8	7.0	6.1	6.4	4.6	6.6	4.8	5.4	5.9	5.7	3.2	3.2	2.7
D . I .	6.1	3.2	0.0	2.0	2.1	3.4	2.1	1.2	1.0	2.2	0.0	-1.5	2.7	3.0	2.7

製品在庫水準の推移…… (うち製造業のみ) (%)

	2022	2023				2024				2025				見込	予測
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
不足	11.3	15.4	8.2	8.3	8.1	2.9	3.0	8.7	1.5	6.3	5.7	3.9	6.1	6.1	4.9
適正	75.5	69.2	76.7	79.2	82.3	82.4	80.3	78.3	86.4	85.9	84.0	85.7	87.8	86.6	87.8
過剰	13.2	15.4	15.1	12.5	9.7	14.7	16.7	13.0	12.1	7.8	10.3	10.4	6.1	7.3	7.3
D . I .	-1.9	0.0	-6.9	-4.2	-1.6	-11.8	-13.7	-4.3	-10.6	-1.5	-4.6	-6.5	0.0	-1.2	-2.4

製品在庫水準の推移…… (うち非製造業のみ) (%)

	2022	2023				2024				2025				見込	予測
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
不足	10.9	8.6	7.7	9.2	8.2	11.5	7.6	7.5	6.8	7.9	6.0	4.3	5.6	6.2	5.6
適正	85.8	86.8	86.2	85.2	86.6	84.3	90.9	87.6	90.2	87.2	89.3	91.1	91.9	91.6	92.8
過剰	3.3	4.7	6.1	5.5	5.2	4.2	1.5	4.9	3.0	4.9	4.7	4.6	2.5	2.2	1.6
D . I .	7.6	3.9	1.6	3.7	3.0	7.3	6.1	2.6	3.8	3.0	1.3	-0.3	3.1	4.0	4.0



製品在庫水準D.I.はプラス2.7となり前回比4.2ポイント改善しました。2026年1月以降もプラス圏内で推移する予想です。

製造業は0.0と前回比6.5ポイント改善しました。2026年1月以降は悪化し、マイナス圏内で推移する予想です。

非製造業はプラス3.1と前回比3.4ポイント改善し、2026年1月以降もプラス圏内で推移する予想です。

IV. 資金繰状況

(小数点第2位を四捨五入)

資金繰状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2022	2023				2024				2025				2026	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
ゆるい	14.9	16.8	14.3	14.3	13.6	9.8	13.7	12.3	15.5	13.0	16.3	15.7	18.3	20.7	17.7
普通	68.6	64.7	73.2	69.7	70.9	72.8	70.2	75.7	70.9	69.4	71.1	70.1	69.8	63.4	71.4
厳しい	16.5	18.4	12.4	16.0	15.5	17.4	16.1	12.0	13.6	17.6	12.6	14.2	11.9	15.9	10.9
D . I .	-1.6	-1.6	1.9	-1.7	-1.9	-7.6	-2.4	0.3	1.9	-4.6	3.7	1.5	6.4	4.8	6.8

資金繰状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

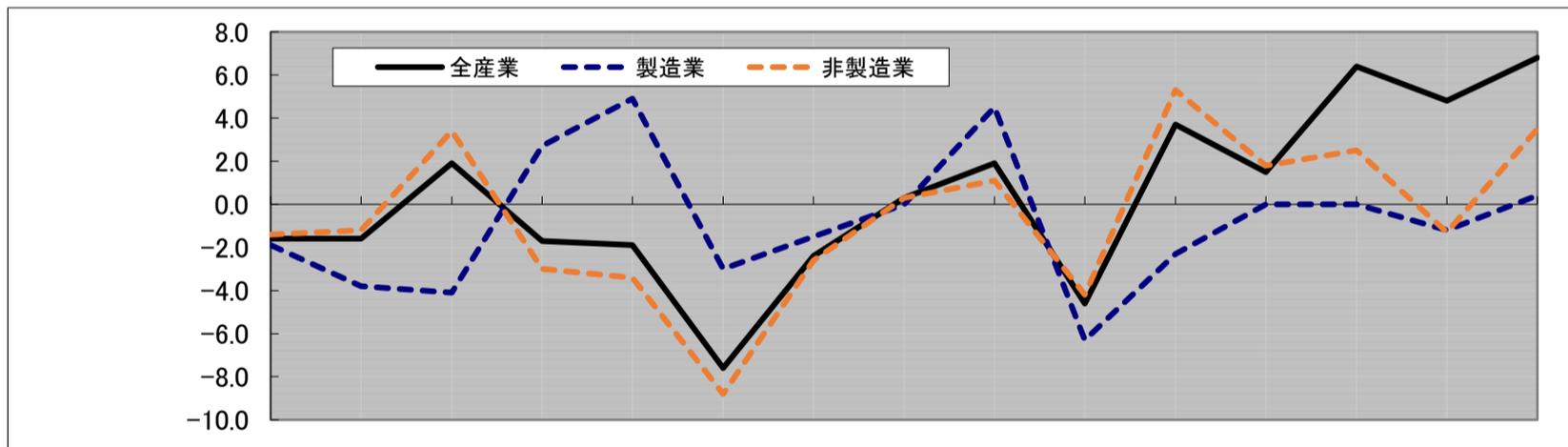
	2022	2023				2024				2025				2026	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
ゆるい	7.5	13.5	12.3	12.3	21.0	8.8	12.1	10.1	13.6	10.9	13.8	14.3	16.3	15.9	16.5
普通	83.0	69.2	71.2	78.1	62.9	79.4	74.3	79.8	77.3	71.9	70.1	71.4	67.4	67.0	67.4
厳しい	9.4	17.3	16.4	9.6	16.1	11.8	13.6	10.1	9.1	17.2	16.1	14.3	16.3	17.1	16.1
D . I .	-1.9	-3.8	-4.1	2.7	4.9	-3.0	-1.5	0.0	4.5	-6.3	-2.3	0.0	0.0	-1.2	0.4

資金繰状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2022	2023				2024				2025				2026	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
ゆるい	16.4	17.5	14.8	14.8	11.9	10.0	14.1	12.8	15.9	13.5	16.9	16.0	16.1	14.6	16.5
普通	65.8	63.8	73.7	67.4	72.8	71.2	69.2	74.7	69.3	68.8	71.5	69.8	70.3	69.5	70.5
厳しい	17.8	18.7	11.4	17.8	15.3	18.8	16.7	12.5	14.8	17.7	11.6	14.2	13.6	15.9	13.0
D . I .	-1.4	-1.2	3.4	-3.0	-3.4	-8.8	-2.6	0.3	1.1	-4.2	5.3	1.8	2.5	-1.3	3.5



資金繰り状況D.I.は全産業でプラス6.4と前回比4.9ポイント改善しました。

製造業は前回と同数値となりました。2026年1-3月はマイナス圏内で推移する予想です。

非製造業はプラス2.5と前回比0.7ポイント改善しました。2026年1-3月はマイナス圏内で推移する予想です。アンケート結果を基に当行にて分析した結果、教育・学習支援業、専門・技術サービス業において悪化傾向にあります。

V. 利益状況

(小数点第2位を四捨五入)

利益状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2022	2023				2024				2025				2026	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
黒字	42.4	39.8	40.0	39.1	47.6	41.5	40.1	42.8	45.1	41.5	46.1	46.9	53.7	42.3	43.3
収支トントン	31.1	35.3	36.8	39.7	33.6	35.6	38.0	35.3	35.5	33.3	34.7	34.6	33.7	44.4	43.6
償却後赤字	26.5	24.9	23.2	21.3	18.8	22.9	21.9	21.9	19.4	25.2	19.2	18.5	12.6	13.3	13.1
D . I .	15.9	14.9	16.8	17.8	28.8	18.6	18.2	20.9	25.7	16.3	26.9	28.4	41.1	29.0	30.2

利益状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

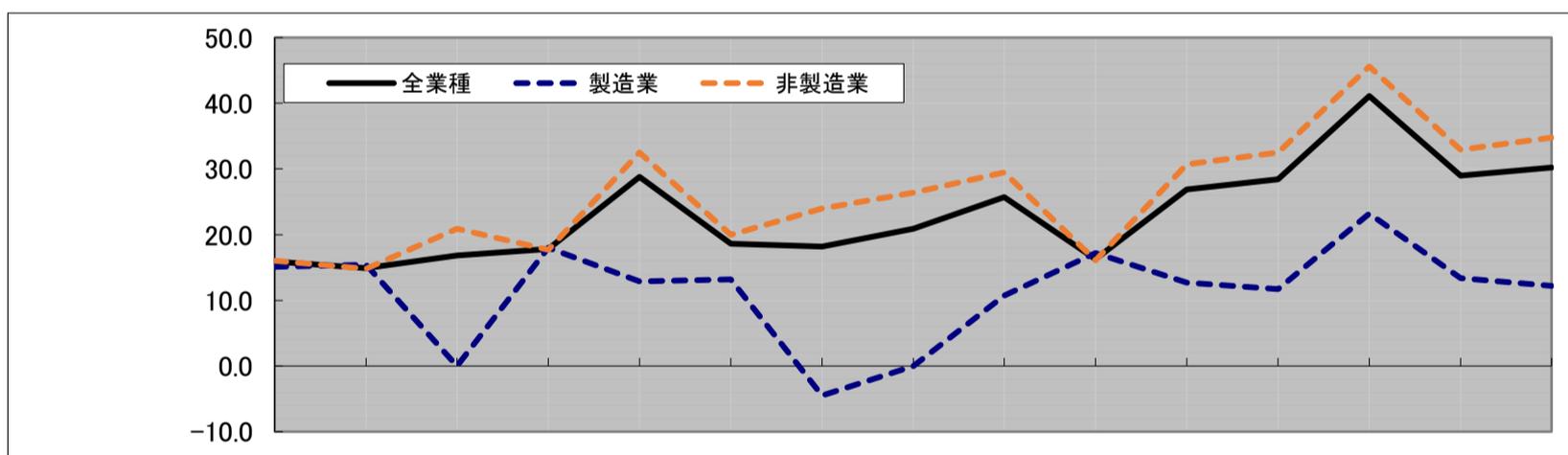
	2022	2023				2024				2025				2026	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
黒字	41.5	46.2	31.5	45.8	41.9	42.6	30.3	34.8	33.4	46.9	41.4	40.3	43.9	31.7	31.7
収支トントン	32.1	23.1	37.0	26.4	29.0	28.0	34.9	30.4	43.9	23.4	29.9	31.1	35.4	50.0	48.8
償却後赤字	26.4	30.8	31.5	27.8	29.0	29.4	34.8	34.8	22.7	29.7	28.7	28.6	20.7	18.3	19.5
D . I .	15.1	15.4	0.0	18.0	12.9	13.2	-4.5	0.0	10.7	17.2	12.7	11.7	23.2	13.4	12.2

利益状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2022	2023				2024				2025				2026	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月
黒字	42.5	38.5	42.1	37.3	48.9	41.2	42.6	44.9	48.1	40.2	47.3	48.5	56.2	45.0	46.3
収支トントン	30.9	37.7	36.7	43.2	34.7	37.6	38.8	36.6	33.3	35.7	36.1	35.5	33.2	42.9	42.2
償却後赤字	26.5	23.7	21.2	19.6	16.4	21.2	18.6	18.5	18.6	24.1	16.6	16.0	10.6	12.1	11.5
D . I .	16.0	14.8	20.9	17.7	32.5	20.0	24.0	26.4	29.5	16.1	30.7	32.5	45.6	32.9	34.8



全産業の利益状況D.I.はプラス41.1と前回比12.7ポイント改善しました。

製造業はプラス23.2と前回比11.5ポイント改善しました。2026年1月以降もプラス圏内で推移する予想です。

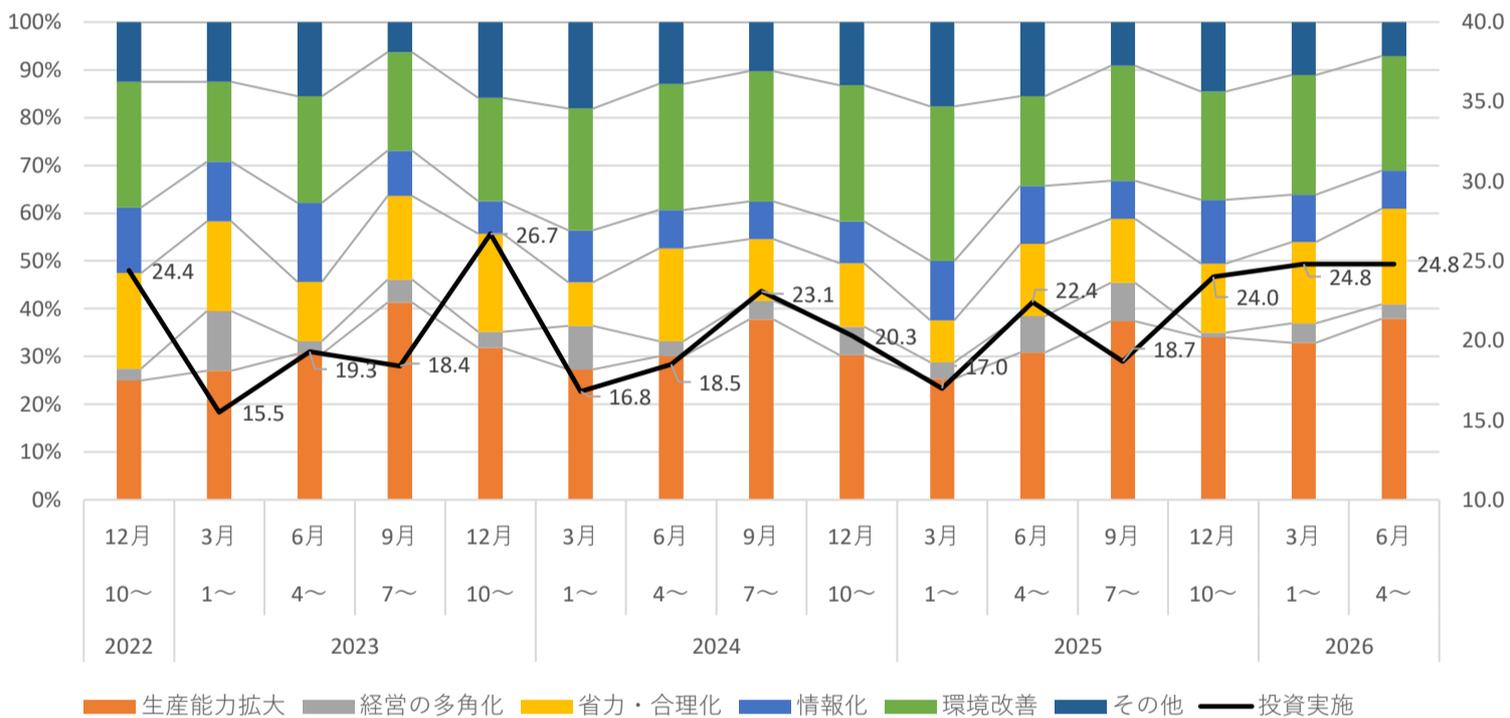
非製造業はプラス45.6と前回比13.1ポイント改善しました。2026年1月以降もプラス圏内で推移する予想です。

VI. 設備投資動向

(小数点第2位を四捨五入)

															見込	予測
	2022	2023				2024				2025				2026		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
投資実施	24.4	15.5	19.3	18.4	26.7	16.8	18.5	23.1	20.3	17.0	22.4	18.7	24.0	24.8	24.8	
投資せず	75.6	84.5	80.7	81.6	73.3	83.2	81.5	76.9	79.7	83.0	77.6	81.3	76.0	75.2	75.2	

															見込	予測
	2022	2023				2024				2025				2026		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
生産能力拡大	25.0	27.0	30.6	41.3	31.8	27.3	30.0	37.7	30.3	25.3	30.8	37.4	34.0	32.9	37.9	
経営の多角化	2.5	12.5	2.6	4.8	3.4	9.1	3.2	3.9	5.9	3.5	7.6	8.0	1.0	4.0	3.0	
省力・合理化	20.0	18.8	12.4	17.5	20.5	9.1	19.4	13.0	13.3	8.8	15.2	13.4	14.4	17.0	20.0	
情報化	13.8	12.5	16.6	9.5	6.8	10.9	8.1	7.8	8.8	12.4	12.1	8.0	13.4	10.0	8.0	
環境改善	26.3	16.7	22.3	20.6	21.6	25.5	26.4	27.3	28.5	32.4	18.8	24.1	22.7	25.0	24.0	
その他	12.5	12.5	15.5	6.3	15.9	18.1	12.9	10.3	13.2	17.6	15.5	9.1	14.5	11.1	7.1	



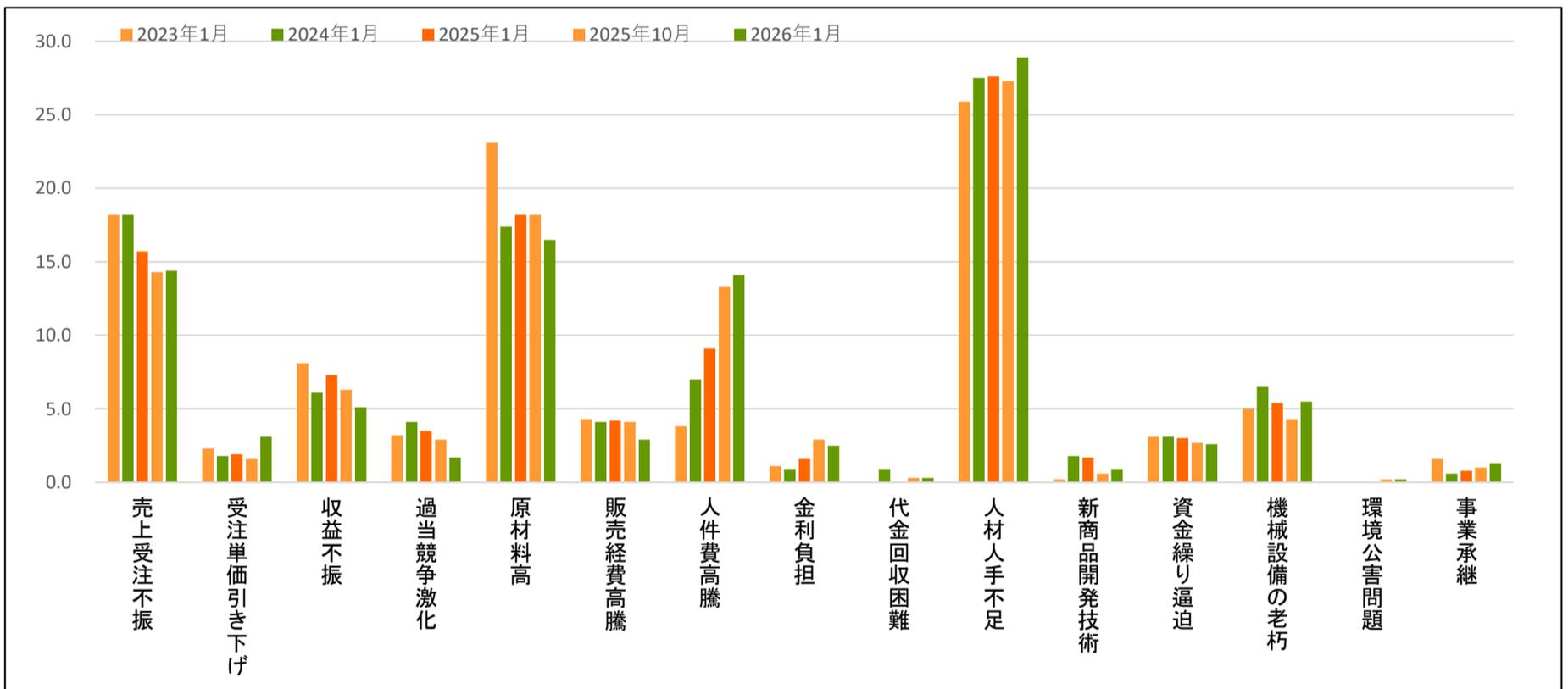
設備投資を実施した企業は24.0%となり、前回比5.3ポイント上昇しました。2026年1月以降の設備投資意欲は同水準で推移していくものと予想しています。

設備投資を実施した目的について、「生産能力拡大」は34.0%と前回比3.4ポイント下降しました。「環境改善」は22.7%と前回比1.4ポイント下降しました。「省力・合理化」は14.4%と前回比1.0ポイント上昇しました。「情報化」は13.4%と前回比5.4ポイント上昇しました。「経営の多角化」は1.0%と前回比7.0ポイント下降しました。引き続き、「生産能力拡大」、「環境改善」を目的とした設備投資動向が続くと推察されます。

Ⅶ. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり) (小数点第2位を四捨五入)

	2023年1月 (3年前同月)	2024年1月 (2年前同月)	2025年1月 (前年同月)	2025年10月 (前回)	2026年1月 (今回)		前回比増減	
					(うち製造業)	(うち非製造業)		
売上受注不振	18.2	18.2	15.7	14.3	14.4	17.0	13.7	0.1
受注単価引き下げ	2.3	1.8	1.9	1.6	3.1	4.3	2.7	1.5
収益不振	8.1	6.1	7.3	6.3	5.1	6.4	4.7	▲ 1.2
過当競争激化	3.2	4.1	3.5	2.9	1.7	0.7	2.0	▲ 1.2
原材料高	23.1	17.4	18.2	18.2	16.5	19.1	15.8	▲ 1.7
販売経費高騰	4.3	4.1	4.2	4.1	2.9	2.1	3.1	▲ 1.2
人件費高騰	3.8	7.0	9.1	13.3	14.1	14.9	13.9	0.8
金利負担	1.1	0.9	1.6	2.9	2.5	0.0	3.1	▲ 0.4
代金回収困難	0.0	0.9	0.0	0.3	0.3	0.0	0.4	0.0
人材人手不足	25.9	27.5	27.6	27.3	28.9	18.4	31.8	1.6
新商品開発技術	0.2	1.8	1.7	0.6	0.9	2.1	0.6	0.3
資金繰り逼迫	3.1	3.1	3.0	2.7	2.6	2.1	2.7	▲ 0.1
機械設備の老朽	5.0	6.5	5.4	4.3	5.5	10.6	4.1	1.2
環境公害問題	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0
事業承継	1.6	0.6	0.8	1.0	1.3	2.3	1.2	0.3



当面の経営上の問題点として前回より引き続き「人材人手不足」が最も多く28.9%となります。次いで高い項目は「原材料高」の16.5%、3番目に高い項目は「売上受注不振」の14.4%、4番目に高い項目は「人件費高騰」の14.1%となり、経営上の問題点のトレンドは前回と同じ傾向となっており、引き続きトレンドは継続すると推察されます。また、前回比増減が大きい項目として、「人材人手不足」が28.9%と前回比プラス1.6ポイント、前年同月比プラス1.3ポイントとなっており、「人材人手不足」、「人件費高騰」といった人材に関する課題が増加傾向にあります。一方で、「売上受注不振」、「原材料高」に関する課題は減少傾向にあります。

コンサルティングサービス

富山第一銀行コンサルティングの特徴

100社以上のコンサルティング支援実績

オーダーメイド型の伴走支援

地域やお取引先との幅広いネットワーク

成長戦略策定支援サービス

- 中期経営計画・経営戦略策定
- 新事業展開・事業再構築戦略策定
- 経営理念・経営ビジョン策定
- 企業のあるべき姿・全社戦略・事業戦略策定
- マーケティング・ブランド戦略策定

経営改善支援サービス

- 売上拡大に向けた課題整理と改善策の策定
- 原価管理体制の構築、業務効率化支援
- 部門別・販売先別などの収益管理の見える化
- 工程別の課題抽出と生産管理体制の構築
- ミス・ロス低減に向けた改善策の検討

各種補助金申請のご支援

- 事業再構築補助金、ものづくり補助金など各種補助金の申請支援

コンサルティングサービス (伴走支援)

BCP計画策定サポートのご支援

- 自然災害などの緊急事態に備えた事業継続計画の策定支援

DXコンサルティングのご支援

- 業務棚卸、フローの見える化による課題抽出と解決策の検討
- 勤怠管理、労務管理、在庫管理、販売管理、収益管理、営業管理などのDX化支援
- 入出金業務、給与計算、経費精算などの業務効率化サポート

人事評価制度・組織体制の強化・人材育成のご支援

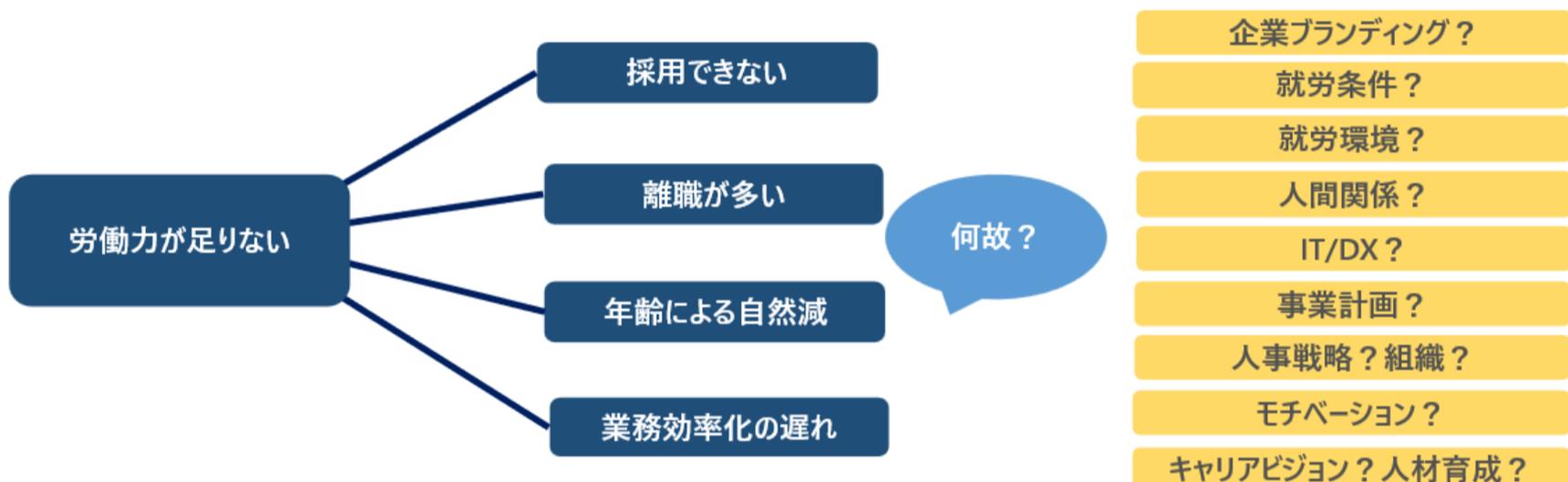
- 人事評価制度の導入・改定
- 賃金体系の策定
- 従業員満足度（ES）向上策の策定
- 従業員向けアンケート調査・個別面談の実施
- 社員向け経営計画発表会の開催
- プロジェクトチーム（PT）の運営サポート

このようなお困りごとございませんか

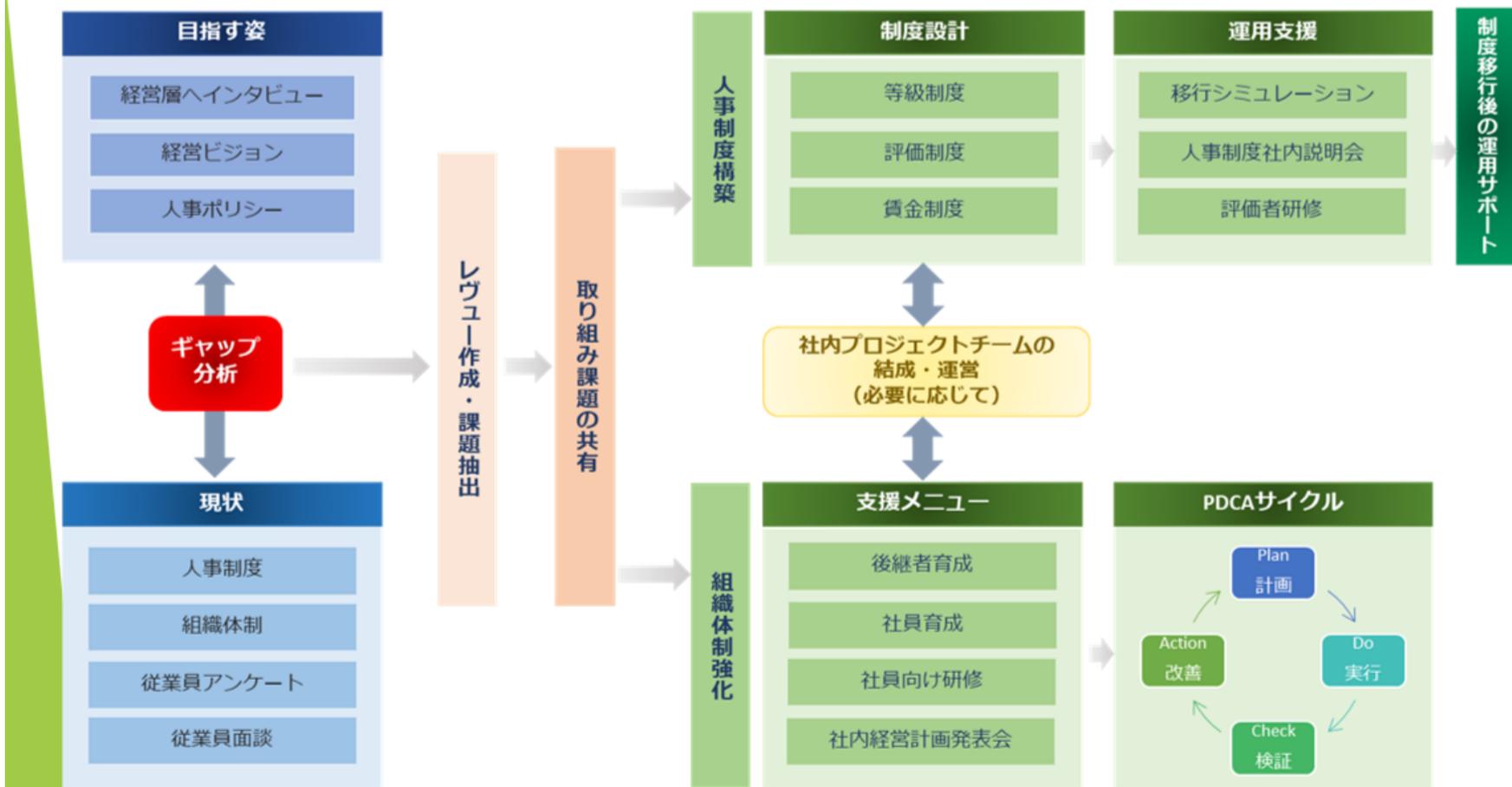
- ◆ 社員の採用ができない、採用した社員が定着しない
- ◆ 賃金テーブル、評価する基準がなく、社長の裁量で昇給をしている
- ◆ 人事制度はあるが、永年見直しをせずに運用を続けている
- ◆ 会社の求める人材、役割、スキルを明確にしたい
- ◆ 社員の働くモチベーションを高めたい
- ◆ 会社の経営方針を社員と共有出来ていない
- ◆ 後継者、幹部社員候補の育成が進んでいない

貴社の人事・組織に関するお困りごとの整理、解決に向けた支援に取り組みます

- ▶ 単に人材の課題においてもなぜ？を繰り返すことで見えてくる課題は様々です。

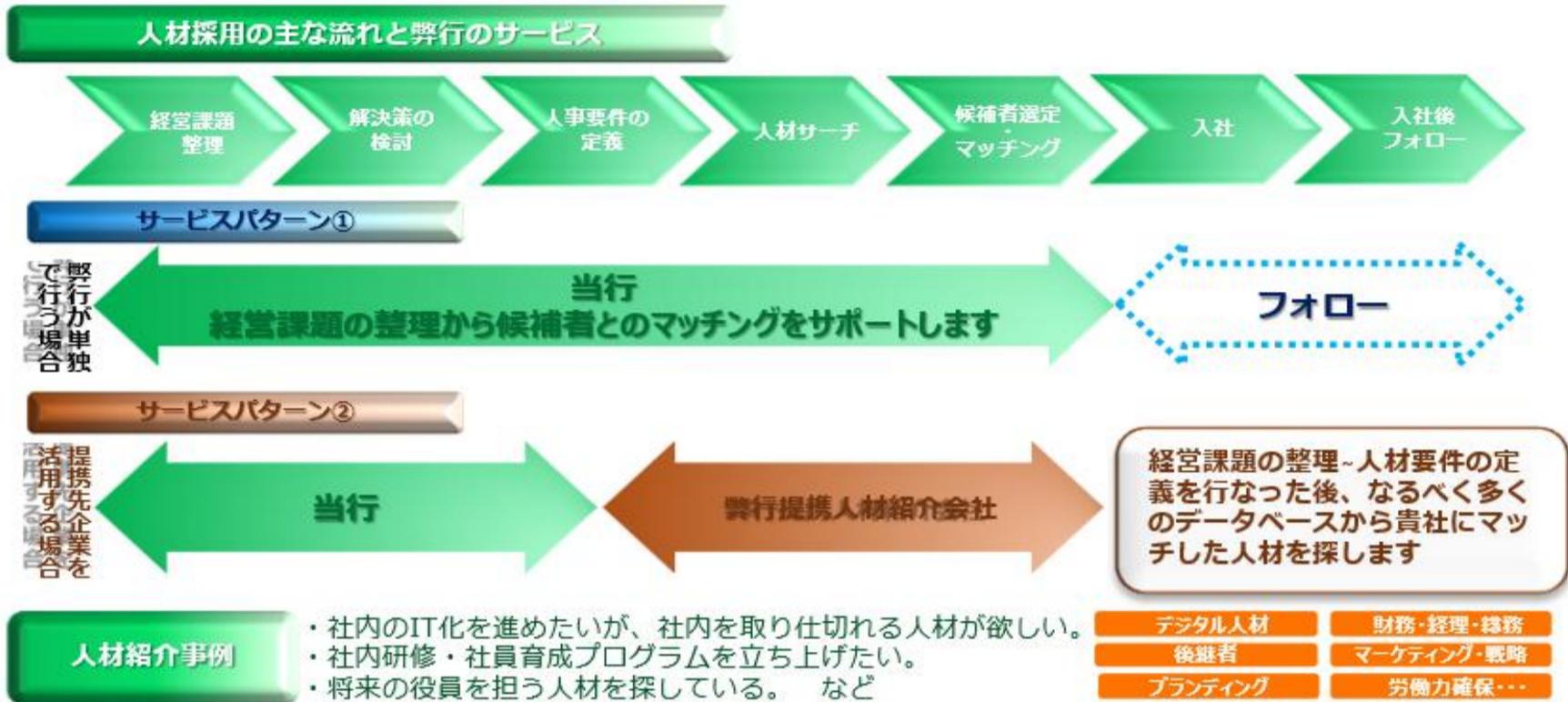


- ▶ 経営陣の皆様・社員の皆様との対話を大切に、課題解決に伴走いたします。



人材紹介

お客さまの経営課題を深く理解し、その解決のために必要な人材募集のお手伝いをさせていただきます。弊行並びに人材紹介を行なう弊行提携先企業の幅広いデータベースの中から最適な人材をご紹介します、貴社の事業拡大・課題解決等をサポートいたします。



事業承継、M&A

事業承継に悩む経営者様に寄り添い、承継に向けた課題抽出から課題解決、承継完了まで全面的にご支援させていただきます。数多くの取組実績を基にした事例から、各経営者様にとって最適な承継支援を実現いたします。

- 現状分析**
 - ・ 株式の評価額と所有者ごとの持株数の確認
 - ・ 事業用資産の把握（所有名義の確認等）
 - ・ 後継者の了解は取れているか など
- 問題点の洗い出し**
 - ・ 株式の移行に伴う弊害、税金の負担
 - ・ 後継者の教育期間やサポート体制
 - ・ 会社の業績の増減によるタイミング など
- 各種対策の検討**
 - ・ 分散株式の集約化
 - ・ 非上場株式に係る相続税・贈与税の納税猶予の活用
 - ・ 相続時清算課税制度の利用
 - ・ 種類株式や持株会、信託などの活用
 - ・ 社内の組織再編、役職の見直し など
- 対策の実行**
 - ・ 顧問税理士、弊行提携専門家と連携
 - ・ 自社株式の評価対策 など
- 代表権や株式の移行**
 - ・ 親族内承継、従業員承継、M&A など
- 社長の引退**
 - ・ 引退後の資産運用、円滑な相続を見据えたご支援

入り口から出口
 までのご支援を
 いたします

中小企業のお悩みに効く!

 富山第一銀行

売上UP
どうすれば…

販路拡大
方法は…

人材育成
進まない…

後継者
決められない…

企業の常備薬として

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。
地域に根ざしているからこそ力になれる
その思い富山第一銀行に聞かせてください。

 富山第一銀行 <https://www.first-bank.co.jp/business/>